エリアとして整備します

者が集い、 ふさわしく、

ともに憩える

●市民の足の確保

北陸新幹線の県内開業

市民と来訪

のエントランスゾーンに口については、あわら市

また、

駅

西口

および

東

的な観光地づくりをれる観光客にとって

目 魅

中国地方など全国から訪

第2次あわら市総合振興計画を策定

総合振興計画とは

しています。 の指針となる計画で、基本構想、 総合振興計画は、あわら市の今後10年間の総合的なまちづくり 基本計画および実施計画で構成

2カ年をかけ、 が平成27年度に計画期間を満了することから、 あわら市では、 市民と一緒に「第2次あわら市総合振興計画」 平成18年度に策定した「あわら市総合振興計画」 平 成 26、 27年度の を

策定しました。

基本構想

本

画

基本計画

間とします。

基本構想

プロジェクトを示します。

基本構想で示したまちづくりの目標を踏まえ、 的かつ具体的に施策を明らかにしたものです。平成28 年度から平成 32 年度までを前期基本計画、平成 33 年 度から平成37年度までを後期基本計画とし、社会情勢 の変化に対応して施策の見直しを行います。

市の基本理念、まちづくりの目標を掲げ、基本方向

計画期間は平成28年度から平成37年度までの10年

を明らかにするとともに、総合的、横断的、重点的な

基本計画で示した施策を年度別に明らかにするもの で、各年度における事業の進ちょく、財政状況などを

勘案の上、毎年見直しを行います。 人も、

実施 計

これから市民になろうとする

幸せなまちへ。 指します。 て幸せを実感できるまちを目 日本一 みんなが暮らしやすく

わら市。 平成16年3月に誕生したあ

3万人の市民のふる 合併から10年余りが 次の O

在このまちで暮らす市民も、 的確に対応するとともに、 こうした社会情勢の変化に 現

経過し、 来です。 伸であり、 体としての基盤は強固なも えるのは北陸新幹線の県内延 10年を展望すると、そこに見 さとにふさわしい基礎的自治 になりました。そして、 人口減少社会の到

画基本構想において、 る第2次あわら市総合振興計 ら37年度までを計画期間とす 幸福な福井県で一番 平成28年度か 基本理

暮ら 第2次総合振興計画の基本理念は や

基本構想

す 7 幸せを実感 できるまち」

念を「暮らしやすくて 幸せを実感できるまち」とし

ました。

ました。 で重点的に実施していく施策を6つのプランにまとめ 基本理念に掲げるまちを実現するため、 今後10年間

PLAN-A PLAN-F 新幹線を迎える PLAN-B 6 まちを輝かせる PLAN PLAN-C PLAN-D 人をはぐくむ 安らぎを守る

により、 この6つプランを総合的 市民の幸せを実現していきます かつ複合的に推進すること

,6 PLAN それは有史以前からこの地に な自然に恵まれたあわら市。 山紫水明、

白砂青松の豊か

まちを輝かせる

要があります。 きた美しいふるさとをこの先も永遠に伝えていく必 には人の営みとともにはぐくまれてきた景観でもあ 私たちは、多くの先人が愛し、守り続けて 息づく大地の姿であり、 さら

その高

6

陸新幹線が、

当初の予定を3年早め平成34年度に開業し

信越を1本の線路で結ぶ北

福井県と首都圏、北関東、

い経済効果が認められています。

新幹線を利用して富山県や石川県に多くの来訪者が訪れ、

ます。平成27年3月に先行開業した長野ー

金沢間では、

に暮らしやすくてうるおいのある生活を提供し保障 そして、豊かな自然や優れた景観とともに欠かす 道路や上下 快適な生活環境です。 水道などの社会基盤の充 市民

の地域のさらなる発展が期待されます。

した時代の変化を好機ととらえ、

市の活性化につなげていきます。

福井県の北の玄関口の

●魅力的な観光地づ

くり

により

される並行在来線につ

並行在来線についりJRから経営分離

と観光の振興

北陸新幹線で福井県を

の温泉観光地である

北陸観光の

宿

ま

その利便性の向上に努 の足を確保するとともに、 あわら温泉は福井県随

ては、

福井県や県内市町

などで構成する第三セク

の運営を通して市民

幹線が開業すれば人の大量輸送も可能となることから、

道、国道8号などの動脈が南北に縦断する交通の要衝となっています。

ては都と遠国を結ぶ北国街道が通った本市は、

現在JR北陸本線や北陸自動車

かつ

ります。

物流で発展してきたこ

北陸新

この北陸新幹線の県内延伸と同時に、新幹線芦原温泉駅が開業します。

実に努めながら、 ことのできないものが、 していくため、 まちを一層輝かせます。 です。かけがえのない市民みんなの大切な財

●景観に配慮した まちなみづくり

市民と共動で進め た景観づく 文化的要素を切り が生み出す美や、 落地域においても、 どの市街地はもとより集 泉駅周辺や芦原温泉街な 心をとらえます。 しい景観となって人々 保たれたまちなみは、 一定の規則性と秩序 と誘導を、 芦原温 口とし 歴史・ 整然

資本の投入を促進するよ

周辺においても民間

加え、

新幹線や舞鶴若狭

中京方面からの観光客に これまで多かった関西、 拠点にもなってい

自動車道などでアクセス

の向上する関東、

甲信越、

るよう働きかけるととも さわしい新幹線駅舎とな 福井県の北の玄関口に える駅が芦原温泉駅です。 訪れる人たちを最初に迎

うな環境の整備に努めま

発生時には最優先でそ ラインとも呼ばれ、 い社会基盤です。 ライ

●自然豊かな

ふるさとづくり

わら市の豊かな自然は、 乢 Щ 湖など

業者、行政などえていくため、 然を守り、 とともに、 たライフスタイ とともに、自然と共生した仕組みづくりを進める していきます。 行政などが参加 次の世代に 市民や ルを提案

●快適な生活環境の整備 橋り

る上で欠くことのできな持し市民が日常生活を送うなどは、都市機能を維 うなどは、都市機能上下水道や道路、 災害

> 機能の確保が求めら れる

環境を提供 平常時から適正な維持管 こうした施設について、 理と機能向上に努め、 快適で安心、 安全な

事

伝 自 産



